

埋め込み型中心静脈アクセスポート (CV ポート) の fluorodeoxyglucose-positron emission tomography/computed tomography (FDG-PET/CT) を用いた画像所見に関する研究

1. 研究の対象

2016年1月1日から2020年12月31日までに岩手医科大学附属病院放射線診断科にて埋め込み型中心静脈アクセスポート (CV ポート) 留置術を受けて、術後に fluorodeoxyglucose-positron emission tomography/computed tomography (FDG-PET/CT) 検査を受けた方

2. 研究期間

研究実施許可後～2025年4月30日まで

3. 研究目的・方法

FDG-PET/CT はブドウ糖の細胞への取り込みを利用した画像診断で、悪性腫瘍だけでなく炎症病変や感染病変にも集積します。この特性を利用して、カテーテル関連感染症の診断のために FDG-PET/CT を用いた研究が行われています。しかしながら本邦では保険診療上の制約で、FDG-PET/CT は主に悪性腫瘍の病期診断・再発診断に限定して使用されています。一方で感染症の症状がない患者における CV ポートの FDG 集積に関する報告はありません。本研究では CV ポート留置を施行した患者の FDG-PET/CT 所見を解析し、実際にどのくらいの頻度で異常集積が認められるか、また異常集積が臨床的経過にどの様に影響するかを調査します。

4. 研究に用いる試料・情報

臨床診断や臨床経過などをカルテから情報収集し、FDG-PET/CT 画像の解析をします。本研究で取得した上記の情報は、研究終了日から5年または結果公表日から3年（いずれか遅い日）保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。本研究で得られた情報は将来的に別の研究への利用や、他の研究機関に提供する可能性はありません。

5. 研究費および利益相反

研究費は岩手医科大学放射線医学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：加藤 健一
岩手医科大学放射線医学講座 准教授

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号
TEL : 019-613-7111 (内線 6322)
FAX : 019-907-7165
E-mail : kkato@iwate-med.ac.jp